

# 小児科

## Pediatrics

ユニット責任者：小児科学 教授 清水 直樹

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	小児科①	6月18日～6月21日	北東 功
第2ブロック	小児科②	12月10日～12月13日	宇田川 紀子

### 1. ユニット概要・学習内容

新生児～乳児期～小児期～思春期の発達・発育と生理学・心理的变化の特徴と、それらの過程における小児期の疾患について学ぶ。さらに、先天性疾患の病態を理解する。

第1ブロック：まず小児医療の全般的な特徴について理解する。そして小児の救急疾患の特徴、周産期医療の実際と問題点、新生児特有の病態について学ぶ。さらに、小児期における栄養、生理的变化と心理的变化、成長と発達の正常と異常を学ぶ。

第2ブロック：先天異常と遺伝因子を理解し、先天性疾患の病態を理解する。特に、けいれん性疾患、神経筋疾患と精神発達の異常、先天的内分泌疾患、先天代謝異常症等の病態について原因・症候・治療を学ぶ。

### 2. 到達目標

- 1) 小児期（新生児～乳児期～小児期～思春期）の各時期の特徴について概説できる。
- 2) 小児の救急疾患と救急処置、乳幼児突然死症候群について概説できる。
- 3) 胎内発育の程度を在胎期間と出生体重を加味して評価できる。
- 4) 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。
- 5) 新生児の生理的特徴を説明できる。
- 6) 胎児・新生児仮死の分類を説明できる。
- 7) 新生児マススクリーニングを説明できる。
- 8) 新生児期の呼吸困難の原因を列挙できる。
- 9) 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。
- 10) 乳幼児の保育法・栄養法の基本と栄養上の問題点を概説できる。
- 11) 乳幼児・小児の生理機能の発達と小児の水・電解質の異常を説明できる。
- 12) 小児の成長、思春期発現の機序、二次性徴の変化を説明できる。
- 13) 児童虐待について概説でき、小児の精神保健上の問題を列挙できる。
- 14) 染色体異常、遺伝子異常の種類と疾患を列挙できる。

- 15)小児のけいれん性疾患と神経皮膚症候群について説明できる。
- 16)乳幼児・小児の精神運動発達と小児の行動異常を列挙し説明できる。
- 17)小児期の視床下部-下垂体疾患、甲状腺疾患、先天性副腎過形成症を説明できる。
- 18)先天代謝異常症の原因・症候・治療を説明できる。
- 19)小児期に発症する代表的な神経筋疾患について列記し説明できる。

### 3. 学習上の注意点

小児科学の講義内容は多岐にわたっているため、講義当日にすべてを把握することは困難である。したがって、事前に教科書、参考書、文献などで予習することが大切である。

### 4. 教科書・参考書

教科書 『標準小児科学 第8版』(医学書院)2013年

『NEW小児科学 改訂第2版』(南江堂)2003年

『小児科学・新生児学テキスト 全面改訂第5版』(診断と治療社)2007年

参考書 『ネルソン小児科学 原著第19版』(エルゼビア・ジャパン)2015年

…世界中の医学生,小児科医が最も利用している小児科学最高峰のテキスト。

『コルフ臨床遺伝医学 原著4版』(丸善出版)2014年

…遺伝学の基礎と具体的症例から、臨床遺伝学をコンパクトに解説した一冊。

『リップンコット イラストレイテッド生化学 原書7版』(丸善出版)2019年

…生化学全領域の必要不可欠な知識をコンパクトにまとめたテキスト。

### 5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	90 (%)	前期・後期期末試験期間中に実施する。
授業態度		10 (%)	出席状況や授業態度を成績に加味する。

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

### 6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
小児科	教授	清水直樹	未定	医学部本館3階小児科医局	内線3321
新生児科	病院教授	北東 功	火・金曜日9時~12時	〃	〃
小児科	助教	宇田川紀子	火・水曜日15時~18時	〃	〃